

テレワークの種類	在宅勤務	モバイルワーク	サテライトオフィス	狙い	生産性向上	移動時間短縮	非常時の事業継続	顧客満足度向上	WLB向上	オフィス費用削減	通勤弱者対応	創造性向上	優秀な人材確保	省エネ・CO2対策
	○				○	○				○		○		○

企業の概要

社名	株式会社Orb	都道府県	岡山県
業種	小売業(ECマース)	従業員数	13
事業概要	インターネットによる消耗品・雑貨・美容健康商品・ベビー用品・医療機器等の販売事業、		

テレワーク実施概要

雇用上の規定	就業規則の本則や細則で定めている
テレワーク担当部署	なし
テレワーク対象者	3名
実施者数	3名
実施日数	月平均 50時間程度 / 人

テレワークの導入・拡大の経緯


創業時人出が足りない頃に、知人のついでで声をかけたところ、赤ちゃんを子育て中の主婦が数人集まった。子育てと家事がある中、保育園にも預けることができず、出社して仕事をするのは難しい。自宅で同じ仕事がこなせるよう、パソコンを貸与し、googleドキュメントなど、無料で使えるクラウドを活用して、同じデータを共有できるようにした。最初は出退社は自己申告制だったが、あるスタッフの働いている時間が、圧倒的に少ないことに気がついた。面談をしたところ、赤ちゃんが急に泣きだしたり、ミルクをあげていた時間が不明な為、少なめに申告しているというのだ。また、いつ子どもが泣きだすかわからないので深夜など、ぐっすり寝ているときにしか仕事ができないと相談を受け、気兼ねなく対等に雇用関係を継続できるよう【**テレワーク+分給制度**】を導入した。

テレワークの概要・特徴

【2種類の働き方】

■分単位カウントシステム
1分単位で給料が自動カウントされるシステムを自社構築し、作業者の働いている時間が自動カウントされ、分単位で給与が支払われる。働く時間を決めにくい子育て中のスタッフに喜ばれている。

■クラウド出社型
子どもが保育園などにいるなど、安定的に仕事ができるスタッフはクラウド出社をしている。管理者から作業指示をもらい、作業内容に不安を覚えた場合は、画面と音声を繋げ指導をする。自宅にいても社内の空気を感じながら安心して働くことができている。



テレワーク導入の効果(経営にもたらした効果、その他効果)

テレワークは数人で作業を分散させる為、断続的な作業しかない閑散期の経費削減や、繁忙期の業務分散ができ作業時間短縮にもなっている。また、テレワークスタッフも社内勤務スタッフも全員分給とし、学校行事や習い事でもギリギリまで働くことができ、遅刻・早退がしやすいようにした。スタッフには、家庭と仕事の両立がしやすいと喜ばれ、経営理念である相互尊重の**自覚・社風ができた**。この会社の取り組みが徐々に認知され、パート求人を出すと意識の高い応募者が増え、**優良人材の確保**にも繋がっている。その他の活動として、夕食作りの1品を減らすため「お持ち帰り可能!社長飯(不定期)の日」や、「家庭と仕事を忘れておいしいものを食べる会」等の社内行事も行っている。